新型コロナウイルスの感染拡大は，感染症対策への課題だけでなく， それまで見えにくかった社会の課題が深刻化していることを浮き彫りにしました。
京都府議会においても対策について議論，提案しており， コロナ禍で「表面化している」「広がりつつある」京都府の課題を示し，未来への責任者として対策について行動します。

## 学び，提案し，行動し，検証する



## 

## 人口減少の根本的問題を考え，対策内容を再検討

## 京都府は地域特性を踏まえた対策が必要

少子化問題は1990年から指摘され続け，あらゆる社会問題に影響する課題です。 しかし，その対策は取り組み内容，スピードに課題が多く，約30年を経た現在は少子化が指摘された時期に生まれた赤ちゃんが30歳となっています。人口減少は当然の結果であり，早急な対策が求められます。
地域別の取り組みも重要であり，京都は子育て環境の向上により出生率上昇に挑戦するため，子育て環境の地域特性を見える化するツールを作成しました。


## やるべきこと！

[^0]

## 課題02 ダブルケア・ヤングケアラー

## 専門家，研究者の協力を得て見えにくかった福祉課題の対策へ

京都府孔動を始めました

母子家庭のライフサイワルにおける複数ケア研究会の研究代表者で京都華頂大学の流石智子教授から現状（ヒアリング調査結果）をお伺いし，その対策を練り上げ，府へ提案させていただきました。引き続き取り組みます。

## やるべきこと！

－ひとり親家庭のダブルケア支援 ※省児と介護を同時に担う「ダブルケア」の状態にあるひとり親世帯

## 府は243世帯を把握（うち $25 \%$ が家族の手助けなく，労働（収入）に影響）

2022年度調查で明らがこなった厳しい状況を踏まえ支援策を強化
子どもの預かゆなど家庭支援員の派遣や相談窓口に専門員を配置
－ヤングケアラ一支援 ※本来，大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行う

## 府は総合支援センターを開設

学校等の関係蟣関との連懏を強化（相談体制など），夏頃をめどに連懏支援マニュアルを作成


京都府ヤングケアラー総合支援センター TEL 075－662－2840

## ダブルケア サポート事業

京都府ではダブルケ アラーが，ダブルケ ア経験者と悩みを共有したり，情報収集 をしたりすること で，負担感を軽減し，育見及び介護に前向 きに取り組めるよう支援するための事業 を実施しています。


## 諷 03 京都府の経済•消費

## コロナダメージを受けた京都経済•消費の活性化

地域特性を知る・今とこれからを見据える
府内経済は個人消費を中心に緩やかに持ち直しているものの，コロナ禍，国際情勢の混乱に伴う物価高䮃など予断を許さない状況です。

## やるべきこと！

－府内企業の $88 \%$ を占める小規模企業等のコスト削減を支援

- 伝統産業の販路開拓を支援
- テレワーク環境とともに副業から複業への環境の整備を進める



## 大切な命とまちを守り，次世代につなげる。

## 環境問題 <br> 未来への責任者としての対策を創造し実現へ

## 温室効果ガス排出実質ゼロへの取り組み目標



## 2030年の温室効果ガス排出量を2013年度比で46\％削減する

## 2050年の温室効果ガス排出量を実質ゼロに

## 具体的な取り組み

－家庭向け・共同購入制度
（太陽光発電設備等の購入希望者を募り，スケールメリットを活かした価格低減を図る）

- 中小企業向け・省工ネ設備等の導入と省工ネ診断士等の派遣一体化で経営効率化支援
- 地産地消型の再エネ導入促進，営農型太陽光発電の導入，駐車場への太陽光発電設置
- 建築物への再エネ導入（床面積 $300 \mathrm{~m}^{2}$ 以上の建築物に再エネ義務制度を拡大）へ

中小工務店への研修など支援強化

防災•集中豪丽対策
線状降水帯予測情報発令（木作6月1日から）
への備え
災害要配慮者，コロナ感热者の
的碓な避䊒行動への支援
防災部局と福祉部局の連携強化
他府県事例の研究と府の
具体的対策，避難計画の策定

## 



酒井つねお事務所
T610－0121 京都狩城陽市寺田袋尻21－3 媊井ビル2F TEL．0774－57－1700 FAX．0774－57－1701


[^0]:    - これまで後手後手であった行政の少子化対策への反省と今後への基本戦略の確認
    - 出会い，結婚，出産，子育て，保育，教育，就労に至るまでの総合的な支援に取り組むための環境整備

